

たかおか 市議会 だより

No.5 12月定例会号
平成19年(2007年)2月1日発行

| | |
|-------------|-----|
| 12月定例会のあらまし | 2P |
| 新しい議会の構成 | 4P |
| 個別質問 | 5P |
| 総括質問 | 10P |
| 委員会の動き | 12P |

編集 ■ 議会広報編集委員会
発行 ■ 富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

消防出初式

写真提供：高岡市美術作家連盟 写真部



新市の平成17年度決算

(平成17年11月～18年3月)を認定

補正予算・条例・意見書など

41議案を可決

個別・総括質問に20人が登壇

12月定例会は11日から22日まで開かれ、継続審査となっていた平成17年度決算(平成17年11月～18年3月)を認定しました。

また、市長から平成18年度一般会計補正予算など36件が、議員から意見書など5件の議案が提出され、全議案を可決・同意しました。

今定例会では、個別質問に14人、総括質問に6人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決した主な議案

条例

高岡市保育所条例の一部改正
 正
 民営化に伴い、戸出西部保育園を廃止するもの。

高岡市きずな学園条例の一部改正
 部改正
 学園と高岡市民病院の緊密な連携を図っていくため、指定管理者による管理運営から市の直営とするもの。

高岡市ひとり親家庭等医療費助成条例等の一部改正
 健康保険法等の一部を改正する法律に基づき特定療養費の算定方法を定める厚生労働省告示が改正されたため、関係規定を整備するもの。

高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正
 リウマチ性疾患の患者増に



土蔵づくりの町並み(菅野家)

その他

よる医療ニーズに対応するため、新たにリウマチ科を設置するもの。

指定管理者の指定について

老人保養センター、福岡鯉の里公園、SOHO事業者支援オフィス、福岡B&G海洋センターなど7施設について指定管理者を指定するもの。

富山県後期高齢者医療広域連合の設置

平成20年4月1日から開始される後期高齢者医療制度の運営は、都道府県ごとにすべての市町村が加入する広域連合が実施することになるため、当該広域連合の設置に伴う規

議決結果一覧

継続審査となっていた議案

認定(平成17年度決算)

| | |
|---------------------------|---------|
| 企業会計(平成17年11月～18年3月) | 全会一致で認定 |
| (高岡市民病院事業会計) | 賛成多数で認定 |
| (水道事業会計) | 全会一致で認定 |
| (工業用水道事業会計) | 全会一致で認定 |
| (簡易水道事業会計) | 全会一致で認定 |
| 一般会計・特別会計(平成17年11月～18年3月) | 賛成多数で認定 |
| (一般会計) | 賛成多数で認定 |
| (国民健康保険事業会計) | 賛成多数で認定 |
| (下水道事業会計) | 全会一致で認定 |
| (交通災害共済事業会計) | 全会一致で認定 |
| (荻布奨学金事業会計) | 全会一致で認定 |
| (駐車場事業会計) | 全会一致で認定 |
| (老人医療事業会計) | 全会一致で認定 |
| (工業団地造成事業会計) | 全会一致で認定 |
| (農業集落排水事業会計) | 全会一致で認定 |
| (住宅団地造成事業会計) | 全会一致で認定 |
| (介護保険事業会計) | 賛成多数で認定 |
| 初日提出議案 | |
| 平成18年度 補正予算 | |
| 一般会計 | 賛成多数で可決 |
| 国民健康保険事業会計 | 全会一致で可決 |
| 下水道事業会計 | 全会一致で可決 |
| 交通災害共済事業会計 | 全会一致で可決 |
| 駐車場事業会計 | 全会一致で可決 |
| 老人医療事業会計 | 全会一致で可決 |
| 工業団地造成事業会計 | 全会一致で可決 |
| 農業集落排水事業会計 | 全会一致で可決 |
| 住宅団地造成事業会計 | 全会一致で可決 |
| 介護保険事業会計 | 全会一致で可決 |
| 高岡市民病院事業会計 | 全会一致で可決 |
| 水道事業会計 | 全会一致で可決 |
| 工業用水道事業会計 | 全会一致で可決 |
| 簡易水道事業会計 | 全会一致で可決 |
| 条例 | |
| 高岡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 | 全会一致で可決 |
| 高岡市保育所条例の一部改正 | 賛成多数で可決 |

人事

定めるもの。

人権擁護委員

津幡 敬子氏（新任）

野村

今川 一男氏（再任）

小泉新

基峰 節子氏（再任）

意見書

角

次の意見書を全会一致で可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣をはじめ関係大臣に提出しました。

日豪EPA（経済連携協定）に関する意見書（要旨）

- 一 農産物の取り扱い次第では、日本農業に壊滅的な打撃を及ぼすことから、次の事項を強く要望する。
- 二 重要品目に対する例外措置の明確化
- 三 我が国農業の崩壊につながる重要品目の関税撤廃の拒否

- 三 これまでのWTO（世界貿易機構）農業交渉に対する主張に基づいた対応の確保
- 地方財源の充実・強化を求める意見書（要旨）

地方行政サービスの提供に必要な地方税財源を確保するため、次の事項を実現するよう強く要望する。

- 一 国から地方への権限委譲とそれに見合った税源移譲の促進
- 二 地方交付税総額の確保と、財源保障、財源調整機能の堅持
- 三 国が後年度の財政措置を約束した、地方債の元利償還に対する交付税措置の確実な履行
- 四 平成19年度の地方税や地方交付税などの一般財源所要額の確保
- 五 道路などの社会基盤整備に必要な財源の確保

トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書（要旨）

トンネルじん肺は、そのほとんどが公共工事による職業病であり、次に掲げる対策を含めて、トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を早急に講じられよう強く要望する。

- 一 トンネル建設現場における定期的な粉じん

測定及び測定結果の評価の義務付け

- 二 トンネル建設現場における坑内労働者が粉じんに暴露される時間の短縮・規制
- 三 「トンネルじん肺補償基金」の早急な創設

《10月臨時会》

工事委託契約の締結

（高岡駅南北自由連絡通路整備委託工事）

JR北陸本線などによって分断されている南北市街地の連携強化や快適な歩行者空間の確保のため、橋上駅舎化にあわせて南北自由連絡通路を整備するもの。

平成18年度補正予算の概要

| | |
|------------------------|----------|
| 一般会計（補正額 1億2378万円） | |
| 営農センター建設事業費補助金 | 1000万円 |
| 勝興寺トイレ整備事業費補助金 | 1000万円 |
| 富山県後期高齢者医療広域連合分担金 | 962万円 |
| 北陸自動車道新IC設置調査費 | 700万円 |
| 観光施設維持管理費（岸渡川堤桜並木） | 600万円 |
| 介護保険事業会計（補正額 3億194万円） | |
| 介護給付費 | 2億8365万円 |
| 市民病院事業会計（補正額 1億6000万円） | |
| CT（コンピュータ断層撮影装置）更新1台 | |
| 水道事業会計（補正額 1億4461万円） | |
| 企業債の繰上償還 | 1億3559万円 |

高岡市きずな学園条例の一部改正・・・全会一致で可決

高岡市ひとり親家庭等医療費助成条例等の一部改正・・・賛成多数で可決

高岡市高齢者デイサービスセンター条例の一部改正・・・全会一致で可決

高岡市市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正・・・全会一致で可決

高岡市消防員しゅつ金及び殉職者特別賞しゅつ金条例の一部改正・・・全会一致で可決

高岡市消防団員等公務災害補償条例の一部改正・・・全会一致で可決

指定管理者の指定の期間の変更（高岡市きずな学園ほか1件）・・・全会一致で可決

指定管理者の指定（高岡市老人保養センターほか6件）・・・全会一致で可決

字の区域の変更（福岡町養島地区土地改良事業による変更）・・・全会一致で可決

富山県後期高齢者医療広域連合の設置・・・賛成多数で可決

高岡市議会会議規則の一部改正・・・全会一致で可決

高岡市議会委員会条例の一部改正・・・全会一致で可決

最終日追加提出議案

人権擁護委員の推薦（3件）・・・全会一致で同意

議員提出議案（意見書）

日豪EPA（経済連携協定）に関する意見書・・・全会一致で可決

地方税財源の充実・強化を求める意見書・・・全会一致で可決

トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書・・・全会一致で可決

請願

水道料の値下げについて（水道料の値下げを求める会 代表 高瀬充子ほか4168名）・・・賛成多数で継続審査

陳情

高岡市西田地内の大規模養鶏場建設反対について（太田校下連合自治会 会長 中木勝美ほか11名）・・・全会一致で継続審査

10月臨時会の議案

工事委託契約の締結（高岡駅南北自由連絡通路整備委託工事）・・・賛成多数で可決



新高岡駅（仮称）建設予定地（京田・下黒田地内）

新しい議会の構成決まる

最終日の22日に、議長・副議長の辞職に伴う選挙を行いました。

また、常任委員会の所属変更、議会運営委員会・特別委員会等の委員を選任し、議会諸役員の改選を行いました。

議長に 二上桂介氏
副議長に 盤若進二氏



二上議長

盤若副議長

新議長、抱負を語る

本市が活力と魅力にあふれた都市としてさらに発展し飛躍するために、これまで先人から培われてきた歴史的、文化的な都市基盤の上に将来を見据えたまちづくりを進め、新しい時代を創造する都市の確固たる礎を築いていかなければならない。

また、本市議会が果たすべき責務を鑑み、市長はじめ市当局と連携を図り、

市民に開かれた議会を目指していき

二上議長 旧高岡市において副議長、議会運営委員長、総務文教・民生病院・経済消防・建設水道各常任委員長などを、新市では経済消防常任委員長を歴任。

盤若副議長 旧高岡市において総務文教・民生病院・建設水道各常任委員長などを、新市では建設水道常任委員長を歴任。

| | | | | |
|--|--|--|---|--|
| <p>建設水道常任委員会</p> <p>高畠 義一 酒井 立志 野上 達夫 尾崎 憲子 曾田 康司 杉森 利二 山沼 茂敏 柳清 利勝</p> | <p>経済消防常任委員会</p> <p>松崎 義彦 水口 清志 金森 一郎 青木 紘 南部 周三 二上 桂介 磨伊 義広</p> | <p>民生病院常任委員会</p> <p>館 勇将 島村 進 狩野 安郎 上田 武 大井 正樹 荒木 泰行 樋詰 和子 大井 弘</p> | <p>総務文教常任委員会</p> <p>梅田 信一 川島 国 石須 大雄 四十九清治 盤若 進二 向 栄一郎 畠 起也 金平 直巳</p> | <p>議会運営委員会</p> <p>向 栄一郎 尾崎 憲子 酒井 立志 上田 武 島村 進 青木 紘 水口 清志 梅田 信一 大井 正樹 畠 起也 金平 直巳 杉森 利二 磨伊 義広</p> |
| <p>議会広報編集委員会</p> <p>畠 起也 四十九清治 野上 達夫 狩野 安郎 金森 一郎 上田 武 南部 周三 杉森 利二 盤若 進二 二上 桂介</p> | <p>開町四〇〇年記念事業特別委員会</p> <p>山沼 茂敏 上田 武 尾崎 憲子 金森 一郎 曾田 康司 梅田 信一 樋詰 和子 畠 起也 金平 直巳 柳清 利勝</p> | <p>新幹線・公共交通対策特別委員会</p> <p>磨伊 義広 青木 紘 川島 国 島村 進 四十九清治 水口 清志 高畠 義一 松崎 義彦 館 勇将 杉森 利二</p> | <p>港湾対策特別委員会</p> <p>荒木 泰行 大井 正樹 野上 達夫 石須 大雄 狩野 安郎 酒井 立志 南部 周三 向 栄一郎 大井 弘</p> | <p>委員長 副委員長</p> |

個別質問

今定例会では、14人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。

磨伊 義広

・自民クラブ

工事着工

問 平成18年12月7日、総合斎場施設本体工事の公告を行い、発注手続きに入ったが、工事着工の見通し及び供用開始の用途は。また、地区融和に取り組む姿勢とその決意は。
市長 この手続きが直ちに工事着工となるものではない。引き続き関係住民等に説明し、最大限多くの方々に納得いただきながら、入札、議会の議決、契約等の手続きを進めたい。順調に進めば、概ね2年で供用開始となる。また、住民融和なくして斎場問題の真の解決はないの思いから、少しでも住民間のわだかまりを解消し、粘り強く柔軟に地区の融和に取り組みたい。

IC開設に向けて

問 北陸自動車道庄川左岸新インターチェンジの開設実現に向け、どのように砺波市と

連携し取り組んでいくのか。
奥田助役 共同調査等により最適地を選定し、国・県等関係機関と調整し実現に向け努力したい。

引き下げの考えは

問 水道ビジョンの策定の中で水道料金も検討されると思うが、旧市町の一体化の醸成を図る意味から、引き下げを含めた見直しの考えは。
市長 水需要の減少や、老朽基幹施設等の整備の必要から、厳しい財政運営が予想される。市民の期待や旧市町の料金統一問題もあり、何とか料金引き下げの財源を確保し、できれば平成19年3月定例会で給水条例の改正案を示したい。

曾田 康司

・自民クラブ

総合的な調整を

問 まちなか居住支援制度の制定に向けて、庁内の連絡・連携が必要であり、総合計画

や中心市街地活性化基本計画と絡めて総合的に調整するセクシヨンが必要であると考えるが、見解は。
市長 制度の創設に向け、まちなか活性化に関連する部署を加えた庁内組織を立ち上げ、その内容や関連法令等について検討している。今後とも、綿密に連携を図り、制度をより効果的なものにし、総合計画や中心市街地活性化基本計画に反映したい。

取り組みは

問 障害者の自立支援のための相談や地域活動支援センター事業について、どのように取り組んでいくのか。
福祉保健部長 相談や地域活動への支援は、市の業務として取り組むこととなった。障害者施設等での事業の実施にあたっては運営面での支援に努めていきたい。

再発防止

問 個人情報流出事故の再発防止のためには、職員の継続

的な意識喚起が最も重要であると考えるが、今後の対策は。
経営企画部長 日常的な管理・監督の強化、パソコン起動時のチェックメッセージの表示、適正な運用を行うための内部監査などの対策を実施している。今後とも継続して意識の高揚を図り、信頼回復に努めたい。

川島 国

・自民クラブ

経験を活かす

問 まちづくりについて問う。
(1)北陸新幹線建設に伴う用地交渉を円滑に進めるため、過去に用地交渉を担当した職員や地元職員を交えたワークショップを設置すべきでは。
(2)歴史・文化的側面から、高岡開町四〇〇年の歴史そのものである近世高岡の文化遺産群を世界遺産に登録する市民運動を立ち上げてはどうか。

奥田助役 (1)個人情報の守秘や地元関係者としての利害関係等、制約や法令上の問題がある。これらを十分考慮のうえ、必要可能な範囲で経験豊富な職員OBや地元職員の協力を得ていきたい。
(2)世界文化遺産を目指

する。必要可能な範囲で経験豊富な職員OBや地元職員の協力を得ていきたい。



近世高岡の文化遺産（国宝 瑞龍寺）

して市民会議を立ち上げることは、市民がまとまることができると期待する。登録に向けた取り組みについては、経済団体や市民団体などと連携しながら検討していきたい。

家庭の日

問 旧福岡町では、毎月第3日曜日を家庭の日とする運動の普及を図るため、小中学生を対象に家庭の日の作文コンクールを昭和45年から続けてきた。いじめが問題となる今の時代、新市としても力を入れるべき活動だと考えるが、見解は。

教育長 子どもたちの成長の基盤である家庭における家族の信頼関係こそが、子どもの

心に安心や優しさを生み出すものと考え。家庭を大事にする取り組みを今後も大切にしていきたい。

酒井 立志

・自民クラブ

音楽文化

問 これからの高岡の音楽文化の発展には、市民オーケストラの存在が不可欠であるが、市内には、練習の場がないのが現状である。場所の提供を望む声が多くあることから、二上青少年の家をリニューアルする際に是非その対応を。

市長 平成19年4月から市営施設として運営する二上青少年の家は、幅広い年齢層の利用を視野においた新たな文化創造活動や研修活動が展開できる施設として活用を図りたい。今後、オーケストラや芸術文化団体の練習・発表の場としても活用できるような幅広い活用を検討したい。

全校配置

問 いじめや不登校の問題は、初期の段階でスクールカウンセラーが児童と接し、教師や家族と連携を図ることで、

ある程度解決できると考える。すべての小・中学校に配置する考えは。

教育長 現在、全中学校には、スクールカウンセラーまたは教員でカウンセリングのみを担当するカウンセリング指導員が配置されている。小学校については、中学校と兼務ではあるが、4校に配置されている。いじめと不登校への対策としては、各学校においても研修を進め、早期対応に取り組んでいるが、専門的な判断や「スーパーバイザー」としての指導などが期待されるスクールカウンセラーは、学校にとつて心強いものであり、今後、全小・中学校に配置されるよう、県へ要請していきたい。

金森 一郎

・自民クラブ

活性化

問 まちづくりについて問う。

(1) 中心市街地活性化基本計画のエリアは、JR高岡駅周辺の商業地域を中心としており、まちなか居住支援エリアは、人口・世帯数が著しく減少し、空き家等の多い高岡駅北側地区を基本としている。それぞ

れのエリア設定が異なるが、その見解は。

(2) 市民が一体感を持てるような新しい観光キャッチフレーズを募集しては。

市長 (1) 重複エリアでは市街地整備と商業等の活性化の一体的な推進により、重複しないエリアでは、居住環境の向上や住宅支援等の施策により、まちなか居住の促進を図っていくこととしている。双方を同一エリアとしなくても一定の成果は得られると考える。**産業振興部長** (2) 既に「万葉のふるさと高岡」が定着している。一方、加賀藩ゆかりの歴史的建物や史跡も多い土地柄であることから、今後は開町四〇〇年に向け、歴史・文化的資産や自然景観などを考慮し、研究していきたい。

協働のルール

問 市民と行政が連携しまちづくりに取り組むための指針「高岡市・市民と行政の協働のルール」が発刊されたが、その配布先や活用方法は。

生活環境部長 自治会や各関係機関等に平成19年1月中旬に配布予定である。ルールの活用策としては関係フォーラム等の開催をはじめ市民協働庁内推進会議の中でも周知し、

共通認識を図っていきたい。

水口 清志

・自民クラブ

十字路

問 新総合計画策定にあたり、まちづくりの最重要課題として取り組むことは何か。

市長 本市は、能登・県西部・飛騨にまたがる南北軸と、県東部・金沢・加賀地域などの東西軸の十字路にある。より大きな範囲での交流の枠組みを活かした、まちの活性化に取り組みたい。

学校・家庭・地域

問 学校週5日制のねらいは、子どもが家庭や地域社会での生活時間の比重を高め、ゆとりの中で、学校・家庭・地域社会が連携し、社会体験等を経験させることにあると思うが、現状をどのように認識しているのか。また、教師は余裕のある職務環境にあるのか。

教育長 休日を保護者の仕事等のために一人で過ごしたり、塾通いで過ごす子どももあり、必ずしもねらいは達成されていない。学校は、家庭や地域



希望に満ちた二十歳の門出 新成人の集い

産科の危機

に関わることを多く抱えずぎている面があり、今後は、保護者、学校、地域の役割を明確にして、それぞれが責任を持って子育てに関わっていく環境づくりに努めたい。

問 平成18年に入り本市では、産科病院の廃院が相次いでいるが、見解は。

福祉保健部長 県では、20年4月の医療計画策定に向け、産科医療等の確保のための検討を開始したところである。この医療計画等にあわせた対応に努めたい。

再発見

岡 高岡を再発見する機会として、近世高岡の文化遺産群の世界文化遺産登録に向けた運動を盛り上げるとともに、観光認定制度への取り組みを推進すべきでは。

市長 今回の世界遺産登録への提案は、文化遺産群を活かしたまちづくりを行うことで高岡の価値を再認識する絶好の機会である。行政だけでなく市全体で登録に向けた機運が盛り上がるよう努めていきたい。また、観光認定制度については、先般「越中富山ふるさとチャレンジ」が県全体で取り組まれたところであるが、開町四〇〇年記念事業を見据え検討していきたい。

きめ細やかなサービスを

岡 市民サービス向上や来庁者の利便のため、職員によるフロア案内係の常設配置を検討しては。

総務部長 来庁者へのきめ細やかなサービス等が提供できることから、転入出の多い3月から4月にかけて配置して

いるが、職員体制等の問題から常設配置には至っていない。

対話集会

岡 全児童生徒や保護者等を対象に、いじめ問題や自殺防止に関する対話集会を実施すべきと考えるが、見解は。

教育長 各学校の実態に応じ、PTA総会や保護者会等の機会を利用して、生命の尊さやいじめについて語り合う場を持つなど、より充実した対応となるよう努めていきたい。

金平 直巳

日本共産党

正規の雇用を

岡 大企業によるリストラと労働法制の規制緩和により、正規雇用から非正規雇用への大規模な置き換えが進められている。非正規雇用の特徴は、低賃金であるだけでなく、極めて不安定で劣悪な労働条件で働かされていることである。人間らしい雇用を守るためにも、市内企業などに対して、正規雇用の拡大の要請をすべきでは。

産業振興部長 就業形態は、経済競争の中で優位性を確保



いじめをテーマに授業参観

しようとする企業の動きや、柔軟な働き方を求める労働者の希望など複合的な要因により、パート、派遣労働者、契約社員など非正規雇用が増加している。市としては、雇用関連セミナー等の機会を通じて、非正規雇用者の能力を有効に発揮できる環境づくりや、正規雇用との間に不当な処遇格差が生じないように、事業主への周知に努めていきたい。

信頼される行政

岡 福島県・和歌山県・宮崎県での知事の関わる官製談合や岐阜県・長崎県での県庁裏

金問題など地方自治体の汚職、腐敗事件が表面化しているが、一連の汚職事件に対する所見は。

市長 一部の地方自治体における不祥事は、地方行政全体の信頼に関わる重大な問題であり、あつてはならないことである。市職員に対しては、厳正な綱紀を維持するよう求め、市民に信頼される行政運営にあたっていきたい。

梅田 信一

自民クラブ

財政状況の分析

岡 市の会計全体を含めたバランスシート（貸借対照表）の対象範囲を広げ、市が関与及び財政支援をしている公社、第三セクター、一部事務組合などを含めた連結バランスシートの作成予定はあるのか。また、その必要性に対する見解は。

経営企画部長 連結バランスシートを作成は、本市の会計全体のみならず、その財政運営に間接的に影響を及ぼす公社などを含めた財政状況の把握や分析に、役立つものとして認識している。まずは、市の会

計全体のバランスシートを作成し、今後、国から示される財務書類の作成や資産評価に関する実務的な指針、他市の実施状況等を見極めながら、段階的に取り組んでいきたい。

人事評価制度

岡 地方分権の進展のなかで、新たな行政課題や住民の多様なニーズに対応できる人材を育成することは、地方自治体の重要な役割である。人事評価制度の先進地である岸和田市の制度に対する評価は。
総務部長 岸和田市の人事評価制度は、職員の能力開発・活用を目指す新たな人事管理のツールとして考案されたものであり、職員の能力や意欲を高め、地方分権時代を担う人材の育成という観点から、評価すべきものであると考えている。

轟 起也

自民クラブ

野球で高岡に活力を

岡 野球場を備えた総合グラウンドの整備等について問う。
(1)現在の市営城光寺野球場は、児童野球から社会人野球まで、

満足に使用できない状況にある。新市建設計画では野球場を備えた総合グラウンド整備事業を掲げているが、早期に建設場所を決定し、具体的な建設計画の立案をすべきでは。

(2)野球を通じた地域の活性化を第一目標に掲げ、国内2番目のプロ野球独立リーグである「北信越ベースボールチャレンジリーグ」が、平成19年4月に開幕する。その開催地となる本市をはじめ県内関係6市で、「富山サンダーバースベースボールクラブ」への支援策を協議しては。

市長 (1)スポーツ施設整備検討庁内ワーキングで総合グラウンドの整備等を含むスポーツ施設全体の将来的なあり方を研究・整理している。この報告書がまとまった段階で、市議会や競技団体関係者等の意見を聞き、市全体のスポーツ施設整備構想としてとりまとめたい。19年度には施設概要の検討や適地調査に入り具体的な整備ができるよう努めたい。

教育長 (2)このリーグは選手自らが指導にあたる巡回少年野球教室など、地域に密着した活動に主眼を置いており、地域の野球の普及、レベルアップや青少年に夢と希望を与えるものと期待している。野

球では県内初のプロチームであり、地域が支える県民球団でもあることから、県や関係市の動向を踏まえ、今後、検討したい。

野上 達夫

・ 市民クラブ

値上げを抑制

問 国民健康保険事業における保険税の値上げを抑制するために、一般会計からの繰入額を増やすべきでは。

市長 大変厳しい財政状況の中、国の通知に基づき、税軽減相当額や給与費等の経費に対し、一般会計から繰り入れられている。今後も税収の確保、検診活動の充実・強化により、医療費の適正化を進め、国保財政の健全運営に努めたい。

安全安心なまちづくり

問 平成18年度は、市内全中学校、養護学校、主要体育施設にAED(自動体外式除細動器)が配備されたが、今後は全小学校に配備するとともに、自治会公民館等への配備に助成をしては。

教育長 AEDの配備と同時に、学校教員及び体育施設職

員にAEDを使用した救命講習会を実施している。19年度は、全小学校の配備に努め、今後、公民館等への配備や助成について研究したい。

成果は

問 国の構造改革特区の認定を受け、平成18年4月にスタートした、ものづくり・デザイン科推進事業の現況と成果は。

教育委員長 児童生徒は、工芸技術者等の専門家の技を目的の当たりにし、ものづくりのすばらしさや奥深さを感じ、郷土に対する愛着と理解を深



匠の技を学ぶ ものづくり・デザイン科

めるなど、授業を楽しみながら鋳物や漆器作品の制作を行っている。

南部 周三

・ 日本共産党

健全育成

問 子どもをめぐる環境と教育行政について問う。

(1)放課後児童健全育成事業と放課後子ども教室を一体化して実施される、放課後子どもプランに対する検討状況は。

(2)平成19年度から実施される全国学力調査の結果の公表は、競争心をあおり、個性豊かな教育の弊害となるため避けるべきと考えるが、見解は。

教育長 (1)2つの事業を統合し実施することは、活動関係者や参加児童に混乱を招き、円滑な事業展開に支障をきたす懸念がある。当面は現在の活動内容・規模を踏襲した形でそれぞれの事業を進め、一体的な活動展開については、現場の意見を踏まえ、今後、慎重に検討していきたい。

(2)調査結果は、授業や学習の改善に生かすなど、調査の目的を達成するよう努めたい。結果の公表については、学校の序列化や過度な競争につ

ながる恐れもあることから、慎重に検討していきたい。

引き下げを

問 市民の要望に添えて、水道料金の引き下げを一日も早く実現し、定住促進のまちづくりの根幹に位置付けては。

市長 厳しい財政運営の中ではあるが、市民の期待もあることから、少しでも市民への直接的な還元方法である料金引き下げの財源を確保していきたい。また、平成20年度までの料金統一問題もあり、これも含めた給水条例の改正案を、できれば19年3月定例会に示したいと考えている。

狩野 安郎

・ 自民クラブ

重要文化財の保存

問 昭和43年に国の重要文化財に指定された二上射水神社の木造男神坐像は、カビの発生が確認された。徹底したカビ対策を講じるべきでは。

教育長 カビの再発を防止するには、収蔵庫の壁、天井等の防湿処理や空調設備、換気扇の設置等が必要である。文化庁、県、二上射水神社と十

9月定例会後、12月定例会前

- 9月29日 議会広報編集委員会
- 10月10日 議会広報編集委員会
- 16日 議会運営委員会
- 19日 開町四〇〇年記念事業特別委員会
- 23日 議員協議会
臨時会 本会議
- 建設水道常任委員会
- 24日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 26日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 27日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 30日 水道病院決算特別委員会
現地視察
- 31日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 11月13日 民生病院常任委員会
- 15～17日 議会運営委員会行政視察
- 20日 経済消防常任委員会
- 22日 総務文教常任委員会
- 24日 議会運営委員会
- 29日 建設水道常任委員会
- 12月 1日 港湾対策特別委員会
議会運営委員会
代表者会議
- 4日 正副常任委員長会議
- 6日 総務文教常任委員会現地視察

12月定例会

- 12月11日 議員協議会
本会議(提案理由説明)
議案説明会
- 12日 新幹線・公共交通対策特別委員会
- 13日 議会運営委員会
本会議(個別質問)
- 14日 本会議(個別質問)
- 18日 総括質問
- 19日 代表者会議
議会運営委員会
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
- 20日 総務文教常任委員会
建設水道常任委員会
- 22日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議(議案など議決)
議会運営委員会
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
総務文教常任委員会
建設水道常任委員会
港湾対策特別委員会
新幹線・公共交通対策特別委員会
- 開町四〇〇年記念事業特別委員会
- 議会広報編集委員会

分協議し、保存方法や支援について検討していきたい。

早期整備

問 万葉小学校グラウンドは、表層部の劣化が進み、排水機能が悪化している。早期のグラウンド改修が必要だと思いが、見解は。

教育長 グラウンド改修に係る国庫補助基準が変わり、校舎及び体育館の耐震化が必要条件となった。本市では、校舎等の耐震化を前提としない工法によりグラウンド整備を行った例もあり、学校施設全体における緊急度・優先度を見極めながら、このような工法等も活用し、グラウンド整備に努力していきたい。

広告収入

問 市の歳入を増やすため、市民と市政等の広報媒体を活用した広告事業を導入しては。

市長 事業導入に向けて調査、検討を重ねてきた。現在、広告料金や掲載基準の設定など具体的な課題を検討しており、平成19年度中の導入に向けて最終的な整理を行っているところである。

上田 武

市民クラブ

声を生かす

問 総合計画の策定にあたり、

り、地域の将来や新しい本市のまちづくりについて、幅広く意見を聞くため、平成18年8月から11月にかけて全中学校区でタウンミーティングが開催された。そこで出された意見や要望を今後の諸施策にどのように生かしていくのか。

市長 意見や要望等については、中長期的な課題と短期的な課題に整理した上で、総合計画審議会に伝えることにより、基本構想や基本計画の諸施策に少しでも多く反映されるようにしたい。また、19年度予算編成にあたっては、タウンミーティングで出された意見や要望等のうち緊急度、優先度などを十分勘案の上、早急に取り組むべき課題については、一つでも多く形にな

るよう、可能なものから予算に反映させていきたい。



市民との対話 タウンミーティング

身近な教材

問 県内には、学校給食から出る生ゴミを堆肥化して、学校菜園や花壇に有効活用し、環境問題や循環型社会形成の身近な教材としている自治体がある。費用はかかるが、教育効果もあることから、学校などに生ゴミ処理機等を導入してゴミの減量化を図っては。

生活環境部長 学校での生ゴミの処理については、環境教育の効果も十分考えられることから、取り組むべき重要な課題である。今後、関係部局と連携を図りながら、他市の取り組み・事例も参考にし、鋭意研究していきたい。

総括質問

総括質問は、1人25分の持ち時間（質問時間のみ）で、一問一答方式で行います。今定例会では、6人の議員が質問に立ちました。

島村 進

● 市民クラブ

合意事項

問 合併して一年経ったが、平成18年度の予算執行を通じ、合併協議での合意事項はどのように前進したのか。その評価と感想を。

市長 合併協議での合意事項や新市建設計画に掲げる事業は、順次予算化しその実現に向けて取り組んでいる。各種イベントの開催による交流や各種団体の統合も進み、新市の一体化に向けた取り組みは一步一歩着実に動き出しているものと感じている。

問 合併の懸案事項のひとつである総合グラウンド整備事業における野球場は、夜間照明やサブグラウンドを備えたプロ野球の公式戦にも対応できる施設整備が望ましいが、見解は。

教育長 総合グラウンドに整備する施設は、夜間照明設備がある野球場も挙げられており、その規模や設備など具体



福岡高校甲子園出場

的な内容は、今後、市民に喜ばれる夢のある施設となることを目指し、各方面の意見を伺いながら検討していきたい。

問 国民健康保険の人間ドックを充実するためには、平成17年度の旧市町の実績件数に基づき予算化するのが誠実な対応だと思いが、見解は。

福祉保健部長 現在、19年度の予算編成時期であり、17年

度の実績件数を上回ることが可能となるよう、医療機関との調整を行っている。また、費用負担の見直しや募集方法の変更など、19年度の人間ドックの実施にあたっての改善策についても検討を行っているところである。

杉森 利一

● 公明党

新型交付税

問 国は、骨太の方針2006の、簡素な新しい基準による地方交付税の見直し方針により、人口と面積を基本に算定する新型交付税の導入を検討しているが、所見は。

市長 交付税算定の簡素化が目的であると理解しており、仮に、交付税総額削減の手段とされるならば、制度の本質を損なうものである。見直しにあたっては、地方六団体等と協議し進めてもらいたい。

問 国は、平成19年度から、魅力ある地方を目指し前向きに取り組む自治体に対し、地

方の頑張りの成果を交付税の算定に反映させる、頑張る地方応援プログラムをスタートさせるが、所見は。

市長 この制度の課題は、地域住民が地域のニーズに応じて決める頑張るべき政策課題を、一律の指標で計ることや、地方交付税の算定は中立性が重視されるべきであるのに、国の施策誘導になりかねない面があることである。地方交付税制度の本質が損なわれることのないよう十分検討を重ね、制度の構築を図ってもらいたい。

問 今後、大型プロジェクトも予定されているが、公債費の推移をどのように見込んでいるのか。

経営企画部長 既に借入れた起債の償還に加え、今後予定される主要大型プロジェクトや通常事業の借入れ及び償還を一定の条件のもとに試算すると、普通会計ベースで、平成23年度がピークとなり、約93億円程度と見込んでいる。

尾崎 恵子

● 新市民クラブ

増設を

問 言語や情緒などに比較的

軽度の障害がある児童生徒に対して、通級指導教室で特別の指導を行っているが、入級待ちはあるのか。

教育長 現在、入級待ちの児童はいないが、今後、希望者が増え、新たな学級の必要が生じた場合は、開設校を増やす手続きを進めたい。

問 通級指導教室への通学の保護者の負担を軽くするため、市内6ブロックに一カ所ずつ学級を設置できないか。

教育長 入級待ちはないため、現在、設置数を増やす考えはない。

問 学習障害や注意欠陥、多動性障害等の障害のある児童の支援を目的に、特別支援*スタディ・メイト派遣事業を行っているが、現在の状況は。

教育長 小学校4校に派遣しているが、今後、さらに4校への派遣を予定している。

問 二上青少年の家を文化活動や研修の情報発信拠点として有効活用すべきでは。

市長 施設を改修し、新たな機能を付加するなどして、青少年健全育成の拠点施設として位置付けたい。また、幅広い年齢層の利用を視野において新たな文化創造活動や研修活動が展開できる施設として、再利用を図っていきたい。

*スタディ・メイト：通常の学級に在席する学習障害等の子どもたちが、学校の中で友だちと仲よく遊んだり勉強したり、楽しい学校生活を送ることができるよう支援する者

問 食育推進計画の策定に早急に取り進むべきでは。
産業振興部長 新総合計画との調整を図り、子どもたちが健やかに育つまちづくりに向け、平成19年度の早い時期に策定したいと考えている。

石須 大雄

● 市民クラブ

決意は

問 18万高岡市民が建設を待ち望んでいる総合斎場建設に向けての決意は。
市長 総合斎場本体工事については、戸西部金屋地区慎重派住民の方々との話し合いの経過を踏まえ、契約締結に向けて、所要の手続きを開始した。今後の工事着工に向け、関係する皆様への説明を重ね、最大限多くの方々に納得いただけるかたちで、総合斎場建設事業に取り組んでいきたい。

問 高岡市民病院は、県内自治体病院で唯一、患者7人に対し1人の看護師を配置する新たな看護基準の導入を発表したが、今後の決意は。
市民病院長 良質な医療の提供、ひいては経営改善につながる有効な方策と考えており、

平成19年度の早い時点での導入を目指したい。

問 医療事故に対する高岡市民病院としての対策は。
市民病院長 病院長を委員長とする医療安全委員会等を組織し、職員全員が一丸となつて医療安全の推進に努めるとともに、全職員を対象とする研修会の開催や、平成18年度には院内組織として医療安全管理室を設置するなど、医療事故防止に取り組んでいる。

問 今後の保育所の民営化等にあたっては、戸西部保育園の実態を調査、検討する必要があると思うが、見解は。
福祉保健部長 今回が保育所民営化の初めてのケースであり、今後は、民営化後の戸西部保育園の運営状況を検証し、検討していきたい。

問 今後の保育所の民営化等にあたっては、戸西部保育園の実態を調査、検討する必要があると思うが、見解は。
福祉保健部長 今回が保育所民営化の初めてのケースであり、今後は、民営化後の戸西部保育園の運営状況を検証し、検討していきたい。

松崎 義彦

● 市民クラブ

運動を

問 北陸新幹線の運行形態が決まってしまうと、その後の新高岡駅への停車増には時間と労力がかかる。県西部地域、ひいては飛越能地域の拠点として、全列車停車の運動をす

べきでは。

奥田助役 新駅へのアクセス道路や駅前広場、駐車場の整備を行い、乗降客の増を図るとともに、今後の新幹線の整備スケジュールをにらみながら、県や周辺自治体、経済界などととも、JR西日本等の関係機関に強力に要請していきたい。

問 住民の足を守るという大原則の上に、さらに収益という経営面からも、並行在来線に特急列車の運行を。
奥田助役 富山県並行在来線対策協議会を中心とした検討の中で、特急列車の運行計画も含めた経営のあり方についても十分に検討がなされると考える。市としては、北陸本線が地域の公共交通機関として利便性の高いものとなるよう要望していきたい。

問 児童相談所は、急増する児童虐待事件に追いつけないなどの状況にあり、運営指針の見直しや、児童福祉司の配置基準の検討など、体制の強化が必要と考えるが、見解は。
福祉保健部長 高岡児童相談所では、平成16年度から17年度にかけて児童福祉司2名を増員し、さらに18年度には夜間の電話相談に対応するための相談員の配置がなされ、相

談体制の充実が図られている。

館 勇将

● 自民クラブ

将来を見据えて

問 高岡駅周辺整備事業の第2期計画では、JR高岡駅の構内配線やホームについてどのように考えているのか。
市長 平成28年度以降の第2期には、氷見線の配線変更により生じる土地の面整備、新幹線に特急列車等が移行後の城端線・氷見線の直通化等の検討を予定している。新幹線

問 高岡駅周辺整備事業の第2期計画では、JR高岡駅の構内配線やホームについてどのように考えているのか。
市長 平成28年度以降の第2期には、氷見線の配線変更により生じる土地の面整備、新幹線に特急列車等が移行後の城端線・氷見線の直通化等の検討を予定している。新幹線



新幹線開通後の高岡駅は

開業後の在来線の運行形態等が明確でないため、明らかになつた段階で検討したい。

問 高岡駅構内を有効に活用するには、高岡鉄道部の移設が必要であり、その候補として能町駅や二塚駅が適当であると考えられるが、移設を視野に入れ高岡駅の一体整備を考えるべきでは。
市長 施設の移設等を含めた具体的検討については、特急列車等が新幹線に移行し、北陸線などの運行形態が確定し、高岡駅のホームや施設の利用形態が決定しないと難しいと考えている。今後、現在検討中の並行在来線の運行形態等を踏まえ、駅構内の鉄道施設への影響を見据え、検討したい。

問 氷見線と万葉線を能町駅付近でループ化することで利便性が増し、これからの高齢化社会で増大する公共交通のニーズに応えることができるのでは。
市長 技術面等々の課題があるが、高岡駅における万葉線近接化にあたっては、将来的に駅構内への乗り入れの対応を図るとともに、架線の設置が不要な*ハイブリッド電車の開発等の技術革新にも期待しながら、可能な限り検討したい。

問 氷見線と万葉線を能町駅付近でループ化することで利便性が増し、これからの高齢化社会で増大する公共交通のニーズに応えることができるのでは。
市長 技術面等々の課題があるが、高岡駅における万葉線近接化にあたっては、将来的に駅構内への乗り入れの対応を図るとともに、架線の設置が不要な*ハイブリッド電車の開発等の技術革新にも期待しながら、可能な限り検討したい。

委員会の動き

平成17年11月の組織議会で設置された3つの特別委員会は、本市の当面する大型プロジェクトや重要課題に対し専門的に調査活動を行っています。先進地の視察も含め、これまでの調査概要の中間報告がありました。

○港湾対策特別委員会

伏木外港は、平成10年度から万葉ふ頭1号及び2号岸壁が供用開始され、14年度は北防波堤1500mの完成、15年度は万葉ふ頭緑地整備の完了、そして18年3月にはマイナス14m（暫定マイナス12m）岸壁を擁する多目的国際ターミナルが供用開始されるなど、着々と整備が進ん

でいる。

今後、高速道路網の整備と相まって、環日本海交流の拠点性がますます高まることが期待される。引き続き港湾機能の整備や臨港道路の早期完成、伏木ポートルネッサンス21計画調査に基づく事業の促進を国・県に働きかけるとともに、今後の利用促進策を検討していく必要がある、さらに調査を進める。

○新幹線・公共交通対策特別委員会

北陸新幹線は、平成26年度末までの開業（東京―金沢間）を目指しており、完成時期の前倒しも視野に、本市でも庄川橋りょう工事など、本格的な工事が始まった。

今後は、新幹線新駅及びその周辺整備、現駅舎の橋上化



凜とした空気を射る 初射会

や南北自由連絡通路等の高岡駅周辺整備、新駅と現駅のアクセスなど遅滞なく整備することが重要な課題である。

3台目となる新型低床車両や、高年齢者の足として運行されているコミュニティバスなどの公共交通も含め、本市の活性化を図る観点からも非常に重大な問題であり、さらに調査を進め、本委員会としての方向性を見出ししていく。

○開町四〇〇年記念事業特別委員会

平成21年は、加賀藩二代藩主前田利長公が高岡城に入城し高岡のまちを開いて四〇〇年の節目の年となる。

高岡開町四〇〇年記念事業は、高岡の歴史・文化の豊かさを再発見する絶好の機会としてとらえ、一過性のイベントで終わらせず、高岡の特色を活かし、広域的な視野に立つて、今後の一〇〇年を展望したまちづくりのスタートとしなければならない。

は、幅広く市民が参加できる内容や仕掛けの工夫が、また、記念施設等の建設・整備については、諸課題を慎重に検討する必要がある。

編集後記

平成18年11月、本市は県と共同で、「近世高岡の文化遺産群」の世界遺産登録に向け文化庁に提案書を提出しました。

歴史的建造物である瑞龍寺、勝興寺、高岡城跡、前田利長公墓所は、日本の歴史を語る上で重要なものであり、世界にも誇るべきものです。

今後、世界遺産に登録されるためには、議会や各界の後押しも大変重要ですが、なんといっても市民の皆様のご協力が不可欠となります。

さて、新市がスタートして1年余り。さらなる一体感の醸成に向けて、議会も市民の皆様の声聞きながら、世界に誇るべき高岡市となるよう、さまざまな課題に取り組みまいります。

★編集委員

◎嶋、〇四十九、野上、狩野、金森、上田、南部、杉森、盤若、二上

（◎委員長 〇副委員長）

3月定例会の予定

3月定例会は、下記のとおり開催する予定です。

なお、日時等は、2月21日開催予定の議会運営委員会で決定します。

| | | |
|-----|-----|---------------------|
| 1日 | 13時 | 本会議 (市長の提案理由説明) |
| 5日 | 13時 | 本会議 |
| 6日 | 10時 | 本会議(代表質問) |
| 8日 | 9時 | 議会運営委員会 |
| | 10時 | 本会議(個別質問) |
| 9日 | 10時 | 本会議(個別質問) |
| 13日 | 10時 | 総括質問 |
| 15日 | 10時 | 民生病院常任委員会 |
| | 10時 | 経済消防常任委員会 |
| 19日 | 9時 | 議会運営委員会 |
| | 10時 | 建設水道常任委員会 |
| | 10時 | 総務文教常任委員会 |
| 22日 | 10時 | 議会運営委員会 |
| | 13時 | 本会議 (議案・意見書など議決) |

❁ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問合せください。

議会に来てみませんか 市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

開催当日、先着順に受け付けます。

最近の定例会の傍聴者数

| 定例会 | 本会議 | 委員会 |
|-----|-----|-----|
| 3月 | 41人 | 0人 |
| 6月 | 35人 | 0人 |
| 9月 | 24人 | 0人 |
| 12月 | 45人 | 2人 |

